

モニタリング指標 データシート

農用地

第3回千葉県国土利用計画地方審議会調査検討部会

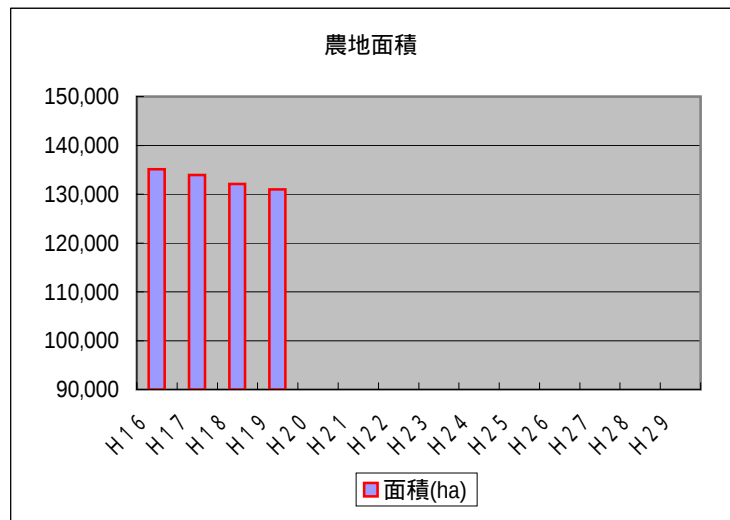
平成21年5月15日

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	[規模の目標]		
解決策			
モニタリング指標	農用地面積		
出典	土地利用現況把握調査(地域づくり推進課)	統計頻度	毎年
指標の概要 ○ 農用地面積は次により算定した。 農用地 = 農地(田、畑) + 採草放牧地 ○ 出典: 農地…農林水産省ホームページ 採草放牧地…農林業センサス結果(農山村地域調査)			

1 指標の推移

	面積(ha)
H16	135,122
H17	133,922
H18	132,111
H19	131,011
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農業生産、農業経営の基盤強化		
解決策	農業経営の大規模化、担い手の確保		
モニタリング指標	大規模な農業経営体数(認定農業者数)		
出典	農業経営改善計画の認定状況(千葉県)	統計頻度	毎年

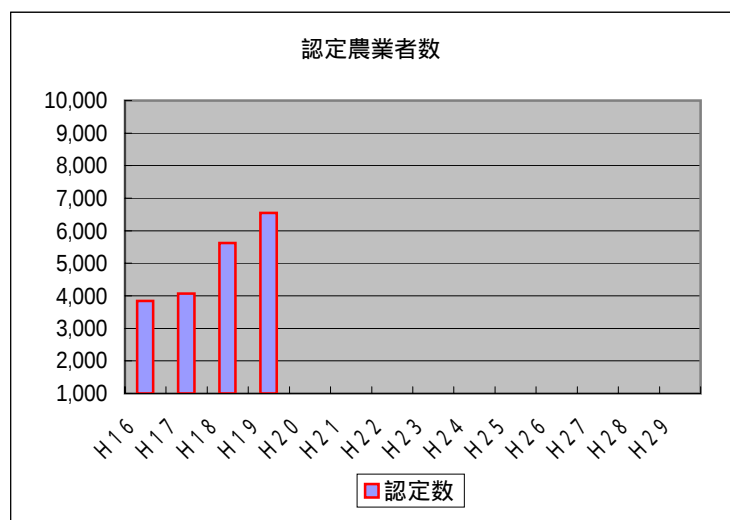
指標の概要

・市町村が地域の実情に即して効率的かつ安定的な農業経営の目標等を内容とする基本構想を策定し、この目標を目指して農業者の提出する「農業経営改善計画」を市町村が認定する制度。意欲ある農業者が対象となっている。また、国の「食料・農村・農業基本計画」においても、施策を集中的・重点的に投下する者として、育成すべき担い手として重視されている。

・認定農業者数は、毎年農林水産省において、各自治体に照会してデータを取っていること、育成すべき担い手として位置づけられていることから、本モニタリングの指標として活用する。

1 指標の推移

	認定数
H16	3,846
H17	4,067
H18	5,625
H19	6,545
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

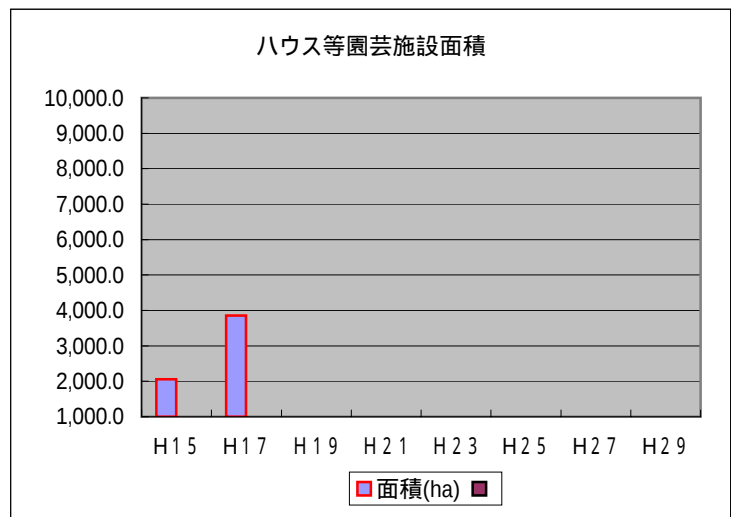
平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農業生産、農業経営の基盤強化		
解決策	高所得農業の推進		
モニタリング指標	ハウス等園芸施設面積		
出典	園芸用施設の設置状況調査(生産販売振興課)	統計頻度	隔年
指標の概要 ・ハウス栽培等で農業生産が営まれる園芸分野は、比較的高価格の農産物を供給している。 ・農業経営体にとって、高収益農産物の供給は、高収益農業の実現に大きく寄与している。 ・そこで、ここでは高収益な農業経営体の状況をモニタリングする指標として、ハウス等の園芸施設の設置面積を把握する。			

1 指標の推移

	面積(ha)
H15	2,054.6
H17	3,853.0
H19	
H21	
H23	
H25	
H27	
H29	



2 モニタリング結果

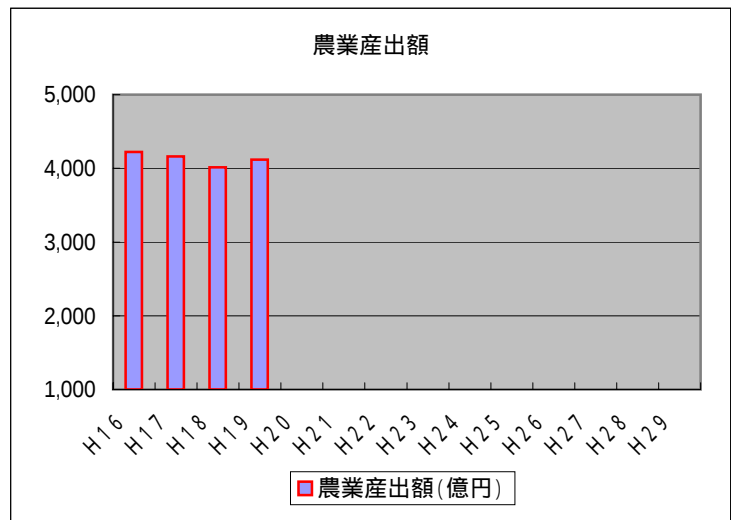
平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農業生産、農業経営の基盤強化		
解決策	高所得農業の推進		
モニタリング指標	農業産出額		
出典	生産農業所得統計(農林水産省)	統計頻度	毎年
指標の概要 ・農業生産の維持に向けては、今後も農業が経済的に維持できることが重要になってくる。そこで、農業の維持に関する経済的要因の一つとして農業産出額について把握する。			

1 指標の推移

	農業産出額(億円)
H16	4,224
H17	4,161
H18	4,014
H19	4,119
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

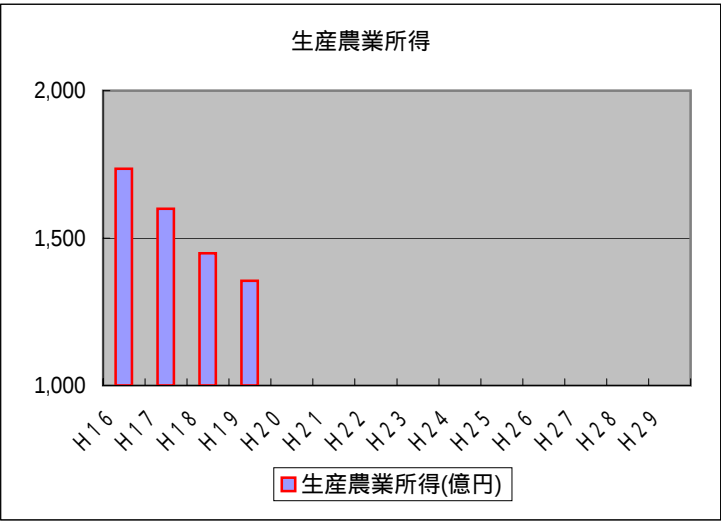
平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農業生産、農業経営の基盤強化		
解決策	高所得農業の推進		
モニタリング指標	生産農業所得		
出典	生産農業所得統計(農林水産省)	統計頻度	毎年
指標の概要			
・農業者が営農を維持できる環境として、農業所得の向上が考えられる。			
・農業の維持に影響を与える経済的要因の一つとして、農業所得の動向を把握する。			

1 指標の推移

	生産農業所得(億円)
H16	1,735
H17	1,599
H18	1,448
H19	1,355
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

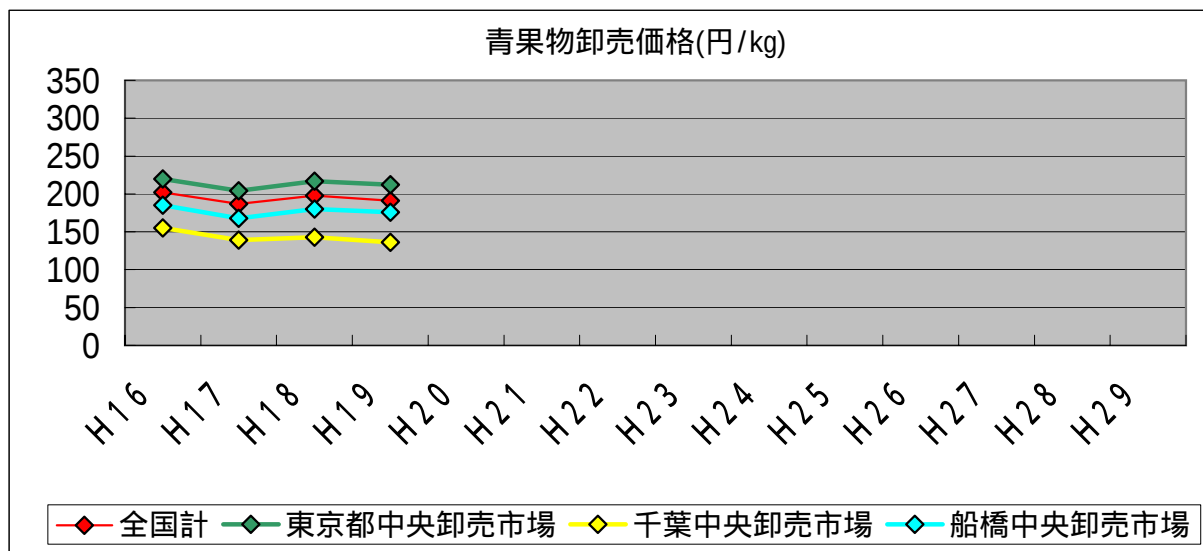
モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農業生産、農業経営の基盤強化		
解決策	高所得農業の推進		
モニタリング指標	農産物価格(青果物卸売価格)		
出典	青果物卸売市場調査(農林水産省)	統計頻度	毎年
指標の概要 ・農業生産の維持が困難になる要因の一つとして、農産物価格の低下が挙げられる。 ・ここでは、農業の維持に向けた経済的要因の一つとして、農産物価格の動向を把握する。			

市場での卸売価額 / 卸売数量

1 指標の推移

	青果物卸売価格(円/kg)			
	全国計	東京都中央卸売市場	千葉中央卸売市場	船橋中央卸売市場
H16	202	220	155	185
H17	187	204	139	168
H18	198	217	143	180
H19	191	212	136	176
H20				
H21				
H22				
H23				
H24				
H25				
H26				
H27				
H28				
H29				



2 モニタリング結果

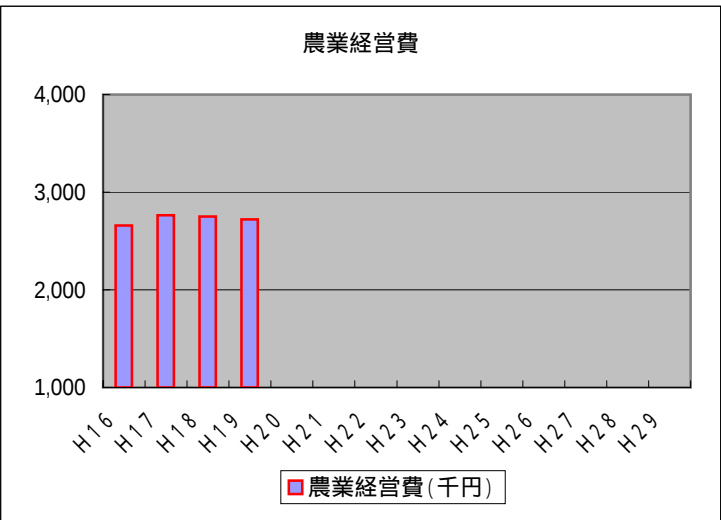
平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農業生産、農業経営の基盤強化		
解決策	高所得農業の推進		
モニタリング指標	農業経営費		
出典	営農類型別経営統計調査(農林水産省)	統計頻度	毎年
指標の概要			
・一昨年度の原油価格高騰等の影響で、農業生産に係る原材料の価格が高騰し、農業生産の維持に少なからず影響を与えている。			
・ここでは、農業の維持に向けた経済的要因の一つとして、原材料価格について把握する。			

1 指標の推移

	農業経営費(千円)
H16	2,659
H17	2,763
H18	2,752
H19	2,722
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農業生産、農業経営の基盤強化		
解決策	農地の利用集積の促進		
モニタリング指標	農地利用集積面積(認定農業者等への農地利用集積面積)		
出典	担い手支援課調べ	統計頻度	毎年

指標の概要

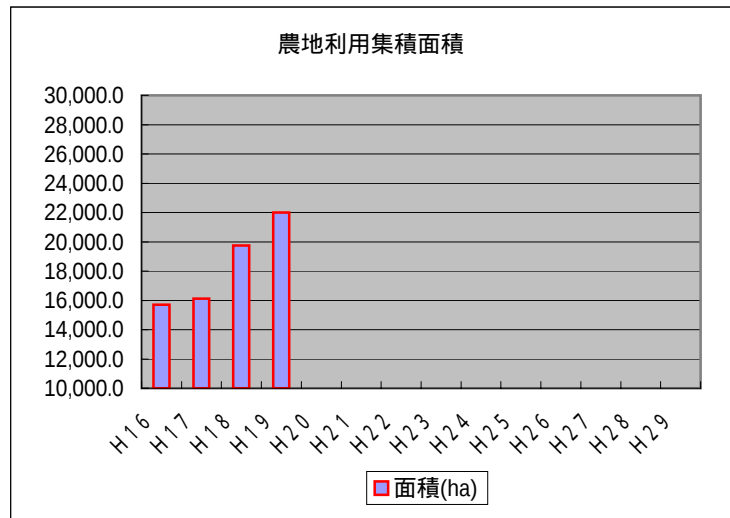
・認定農業者等、意欲ある農業者への農地の利用集積は、農業経営の規模拡大につながり、効率的かつ安定的な農業経営の実現に資するものであり、農業経営基盤の強化に向け、重要な施策・取組の一つとなっている。

・ここでは、農業経営の規模拡大に資する農地利用集積の動向(農地法・農業経営基盤強化促進法)について把握する。

・なお、本データは毎年農林水産省において、各自治体に照会してデータを取っていることから本モニタリングの指標として活用する。

1 指標の推移

	面積(ha)
H16	15,696.0
H17	16,128.0
H18	19,739.0
H19	22,010.0
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



農地法第3条による権利移転、賃借及び使用貸借、農業経営基盤強化促進法第19条による権利移転、賃借及び使用貸借を対象としている

2 モニタリング結果

平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農業生産、農業経営の基盤強化		
解決策	生産条件の確保		
モニタリング指標	ほ場整備面積		
出典	千葉県農業農村整備(耕地課)	統計頻度	毎年

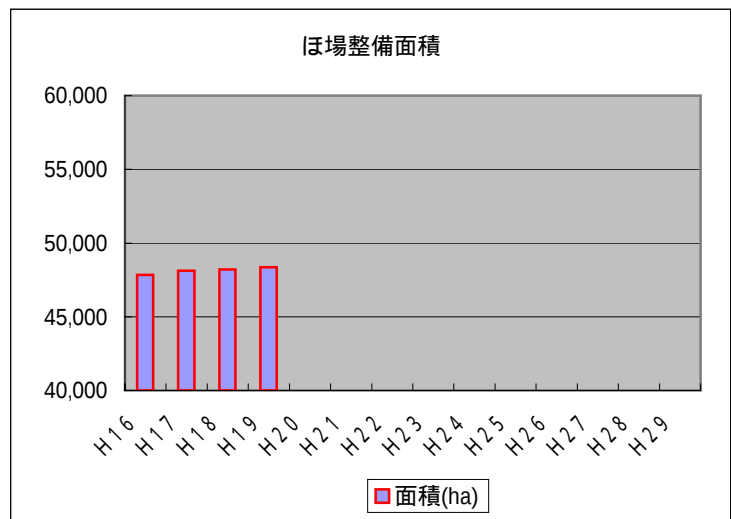
指標の概要

・ほ場整備は、農地の区画整理を中心に、農業用水路、農道など農業生産基盤の面的な改良を一体的に行う事業である。これらの整備により、農業生産への大型機械の利用が可能になるなど、農業生産の効率化を図る上で、重要な取組の一つとなっている。

・ここでは、農業経営基盤の強化を図る対策の一つとして位置づけられる集団化した農地の整備状況を把握する指標として把握を行う。

1 指標の推移

	面積(ha)
H16	47,840
H17	48,112
H18	48,216
H19	48,369
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農地の保全、利活用		
解決策	千産千消の取組		
モニタリング指標	農産物直売所数		
出典	農林水産物直売所実態調査(農村振興課)	統計頻度	毎年

指標の概要

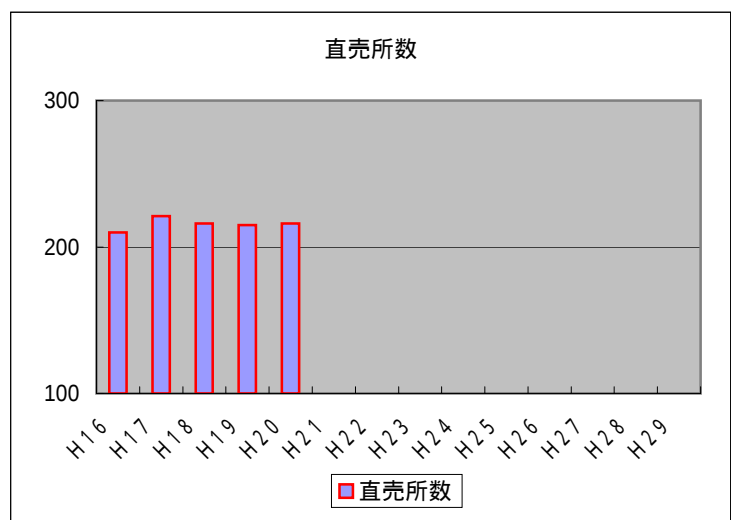
・地域農業を維持するためには、地域の産業として機能することが重要であり、その一つの対策が、千産千消等などにより、農産物が地域で供給・消費されるシステムである。

・千産千消を進める取組としては、地域農産物の供給に資する直売所の整備等が挙げられる。

・ここでは、千産千消の取組に関する施策効果を把握するための指標として、直売所立地数のモニタリングを実施する。

1 指標の推移

	直売所数
H16	210
H17	221
H18	216
H19	215
H20	216
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農地の保全、利活用		
解決策	多様な主体による地域農業づくり		
モニタリング指標	農村女性の起業経営体数		
出典	担い手支援課調べ	統計頻度	毎年

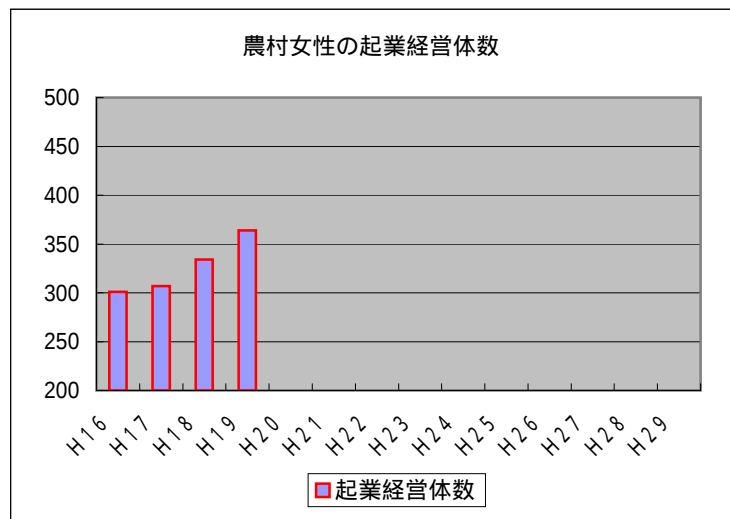
指標の概要

・地域の農業の維持には、多様な主体による農地の活用が重要であり、男性の農業者以外にも、農村内にいる女性の農業への参画(農林畜産物の生産、農産加工品の製造・販売、農村レストランの経営など)が必要になってくる。

・ここでは、女性の農業への参画を図る指標として「農村女性の起業経営体数」の把握を行う。

1 指標の推移

	起業経営体数
H16	301
H17	307
H18	334
H19	364
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

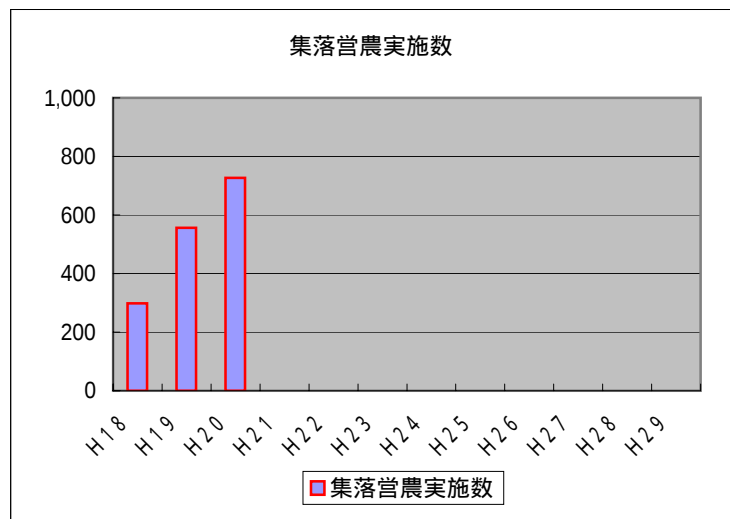
平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農地の保全、利活用		
解決策	千葉県型集落営農の実施		
モニタリング指標	千葉県型集落営農実施数		
出典	担い手支援課調べ	統計頻度	毎年
指標の概要 ・地域農業の維持に向けては、個別の経営体により農業生産が維持されることが望ましいが、地域農業の担い手の高齢化、後継者不足等により、集落全体で農地の保全を図り、農業を維持することが必要な場合もある。 ・ここでは、このような集落全体で農業を維持する取組の一つである集落営農について、その取組状況を把握する。 ・なお、調査年度は平成18年度からである。			

1 指標の推移

	集落営農実施数
H18	298
H19	556
H20	727
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

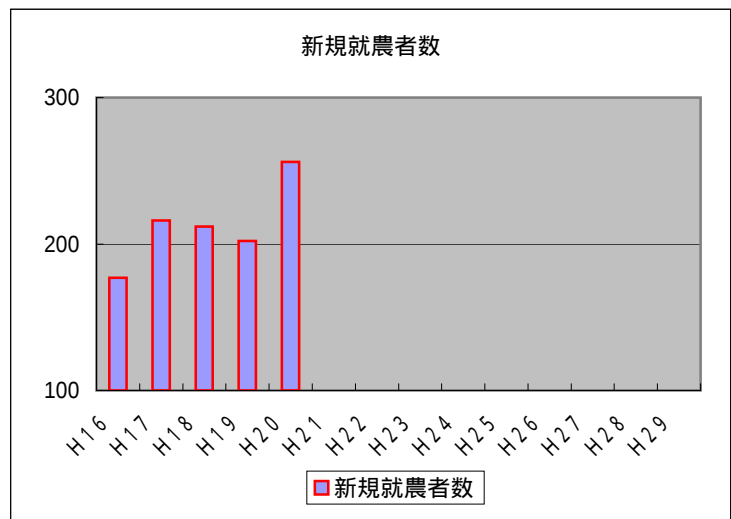
分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農地の保全、利活用		
解決策	新規就農者を増やす取組み		
モニタリング指標	新規就農者数		
出典	担い手支援課調べ	統計頻度	毎年

指標の概要

- ・農地の保全に関しては、営農目的で農地を利用する農業者の育成だけでなく、新たに農地を利用する農業者(=新規就農者)を増やす取組みが必要である。
- ・新規就農者については、認定就農者制度や農業研修支援体制等により、新たな農業の担い手を増やす取組みが行われている。
- ・これらの取組みについて、新規就農者数の動向をモニターし、施策効果の把握に努める。

1 指標の推移

	新規就農者数
H16	177
H17	216
H18	212
H19	202
H20	256
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

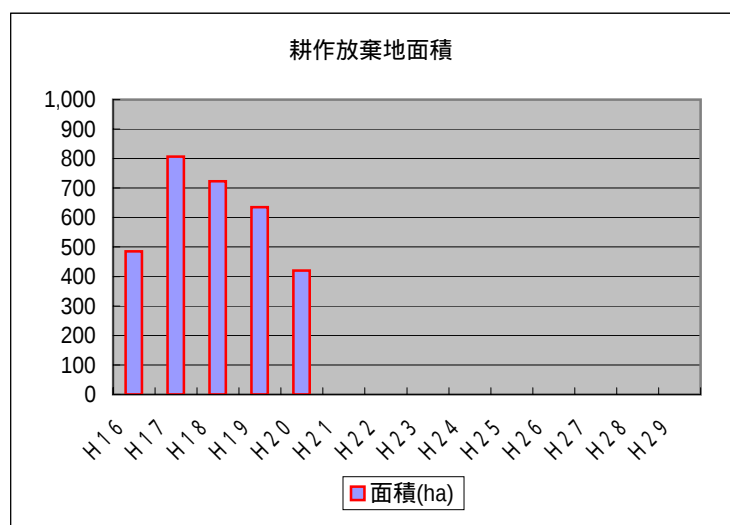
平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農地の保全、利活用		
解決策	耕作放棄地の発生防止		
モニタリング指標	耕作放棄地面積		
出典	耕地及び作付面積統計(農林水産省)	統計頻度	毎年
指標の概要 ・耕作放棄地の発生による農地の荒廃等は、周辺を含めて農地の有効な保全、利活用に支障をきたす要因である。そのため、耕作放棄地の解消を図る取組は、農地の保全・利活用を図る上で、重要な取組となる。 ・ここでは、耕作放棄地の発生防止に向けた取組の効果をはかる指標として、耕作放棄地面積の状況をモニターする。			

1 指標の推移

	面積(ha)
H16	485
H17	807
H18	723
H19	635
H20	420
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農地の保全、利活用		
解決策	多様な主体による農地の保全、利活用		
モニタリング指標	農地・水・環境保全向上対策事業による集落協定締結面積		
出典	農村振興課調べ	統計頻度	毎年

指標の概要

・農地等には、生物多様性・水源かん養性等の生産活動目的以外に県土の保全に資する多面的な機能を有する。しかし、生産者の高齢化や後継者不足による営農活動の維持、過疎化・混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、その適切な保全管理が困難となっている。

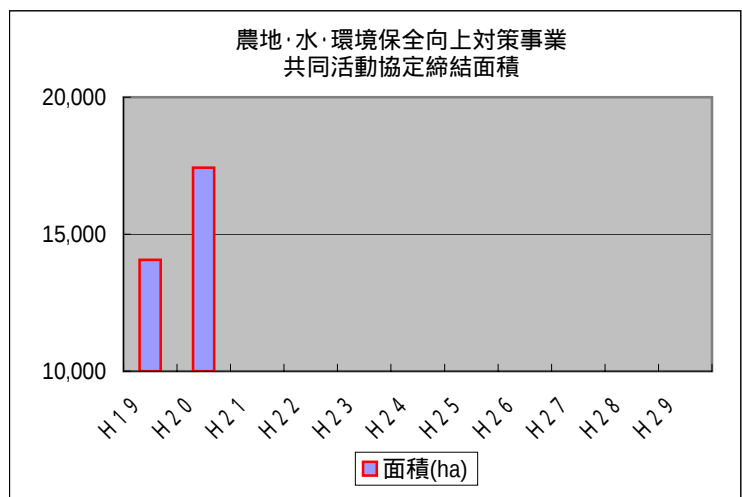
・また、ゆとりや安らぎといった県民の価値観の変化、我が国農業生産全体の在り方を環境保全を重視したものに転換していくことが求められている。

・国では、地域ぐるみでの効果の高い共同活動(施設保全管理等)と、農業者ぐるみでの先進的な営農活動(環境負荷低減等)を支援する「農地・水・環境保全向上対策」を平成19年度から実施しており、本県でも同事業について取組を進めている。

・ここでは、同事業における集落での協定締結が行われた農地面積のモニタリングを行い、地域農業及び農地の多面的機能の維持に向けた施策のモニタリングを実施する。

1 指標の推移

	面積(ha)
H19	14,066
H20	17,429
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

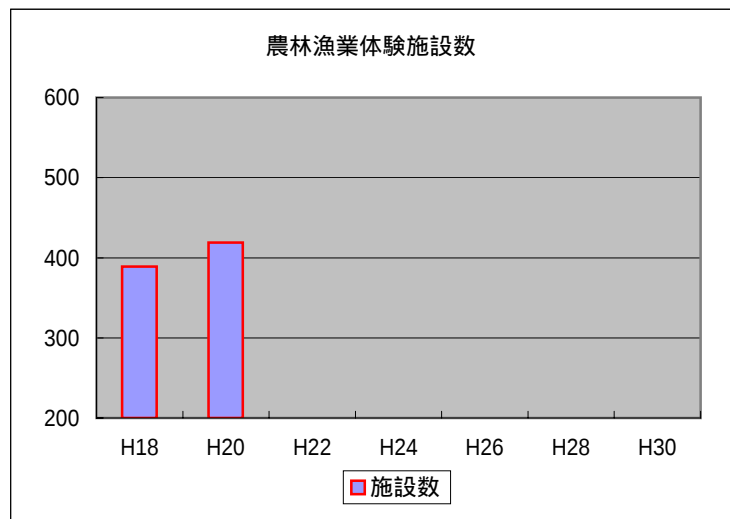
平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農地の保全、利活用		
解決策	多様な主体による農地の保全、利活用		
モニタリング指標	農林漁業体験施設数		
出典	農林漁業体験施設等実態調査(農村振興課)	統計頻度	隔年
指標の概要 ・農地の保全・利活用については、営農目的による利用以外に、都市住民等が農業体験等の農村との交流を通して、農地の保全・利活用を図っていくことも重要である。 ・ここでは、都市と農村の交流状況を図る指標として、農林漁業体験施設の数についてモニタリングを行う。			

1 モニタリング結果

	施設数
H18	389
H20	419
H22	
H24	
H26	
H28	
H30	



2 モニタリング結果

平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農地の保全、利活用		
解決策	多様な主体による農地の保全、利活用		
モニタリング指標	市民農園面積		
出典	市民農園開設状況調査結果(農村振興課)	統計頻度	毎年

指標の概要

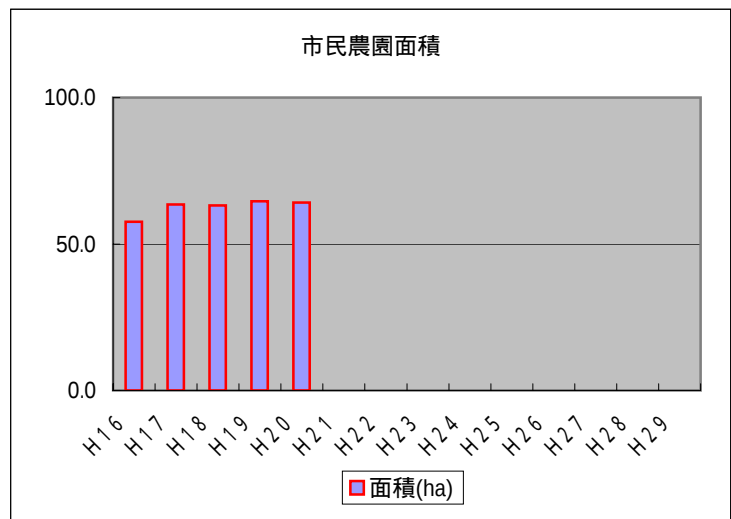
・耕作放棄地の利活用を図る取組としては、再び農地として活用されることが望ましいが、地域での担い手不足等により、営農目的での活用が困難な状況も見受けられる。

・そのような中、現状を改善し、農地として保全していくため、市民農園等により活用していくことも重要になっている。また、市民農園は都市と農村の交流を図る上での重要な資源でもある。

・ここでは、営農目的以外で農地を保全する手法として活用される市民農園について、その面積動向等を把握する。

1 指標の推移

	面積(ha)
H16	57.6
H17	63.5
H18	63.2
H19	64.6
H20	64.2
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

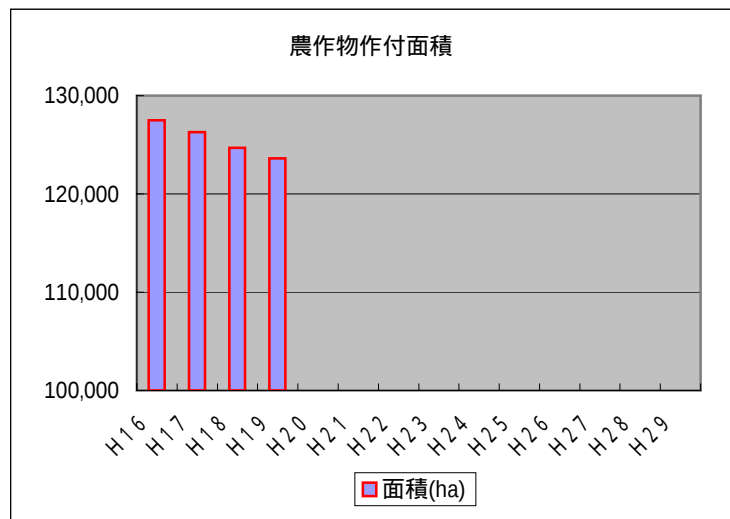
分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農地の保全、利活用		
解決策	耕地利用の推進		
モニタリング指標	農作物作付延べ面積		
出典	耕地及び作付面積調査(農林水産省)	統計頻度	毎年

指標の概要

- ・農地を営農目的で利用することは、農業の維持を図る上で重要なことである。
- ・営農目的で利用されている農地面積等を見る場合に、農作物の作付け状況を把握することは重要な要素である。
- ・このような観点から、農作物の作付面積についてモニタリングを実施する。

1 指標の推移

	面積(ha)
H16	127,500
H17	126,300
H18	124,700
H19	123,600
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農地の保全、利活用		
解決策	耕地利用の推進		
モニタリング指標	耕地利用率		
出典	耕地及び作付面積調査(農林水産省)	統計頻度	毎年

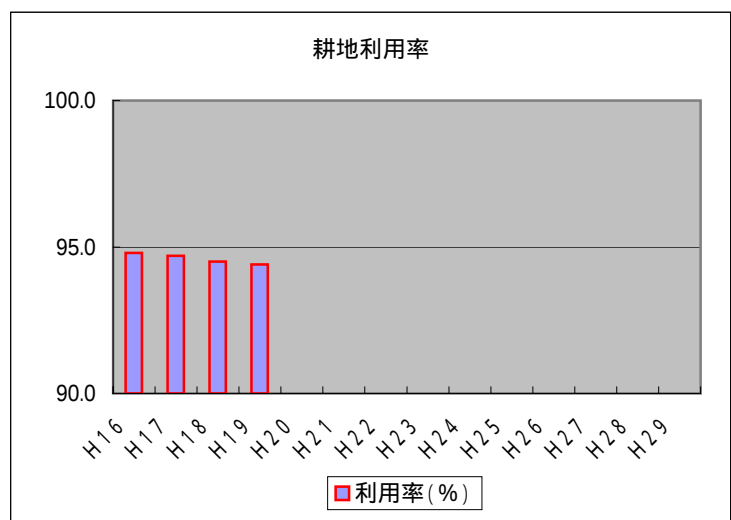
指標の概要

- ・資源としての耕地の生産的な利用の状況を把握する。
- ・耕地面積を100とした作付延べ面積の割合

$$\text{耕地利用率(\%)} = \text{作付延べ面積} \div \text{耕地面積} \times 100$$
- ・耕地:農作物を栽培する目的の土地で、けい畔(田畑の端にあって、通行、施肥、保水など、田畑本来の用途である耕作以外の用途に供せられる細長い土地部分)を含む。

1 指標の推移

	利用率(%)
H16	94.8
H17	94.7
H18	94.5
H19	94.4
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 指標の概況

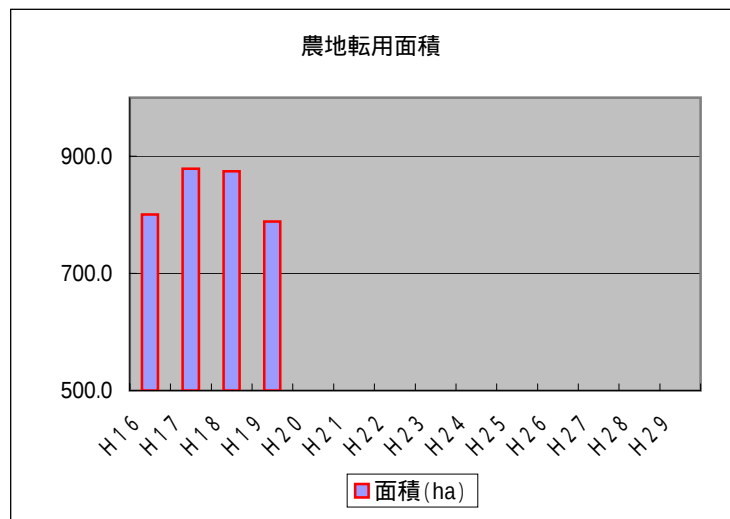
平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農地の保全、利活用		
解決策	耕地利用の推進		
モニタリング指標	農地転用面積		
出典	土地利用動向調査(地域づくり推進課) 土地管理情報分析調査(農林水産省)	統計頻度	毎年
指標の概要 ・農地を農業目的外に利用する場合には、農地法による転用許可を受けた上で、他の目的に用途を変更することになる。 ・ここでは、農地面積の動向をモニターするため、その要因の一つとなる農地転用の動向を把握する。			

1 指標の推移

	面積(ha)
H16	800.8
H17	878.5
H18	874.1
H19	788.5
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

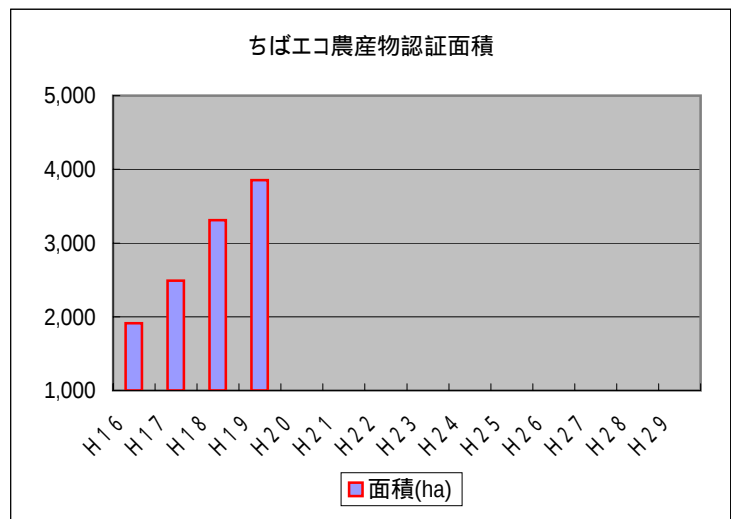
平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	農地の保全、利活用		
解決策	耕地利用の推進		
モニタリング指標	ちばエコ農産物認証面積		
出典	安全農業推進課調べ	統計頻度	毎年
指標の概要 ・農薬や化学肥料を減らした環境にやさしい農業の展開は、農地に対する環境負荷等を低減し、持続可能な農業経営の展開に資する取組である。 ・県では、平成14年度より、環境負荷を低減した農産物生産を認定する制度として、「ちばエコ農産物認証制度」を行っている。 ・ここでは、環境負荷低減型農業に関する取組である「ちばエコ農産物認証制度」に係る認証面積についてモニタリングを行う。			

1 指標の推移

	面積(ha)
H16	1,913
H17	2,491
H18	3,310
H19	3,853
H20	
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 モニタリング結果

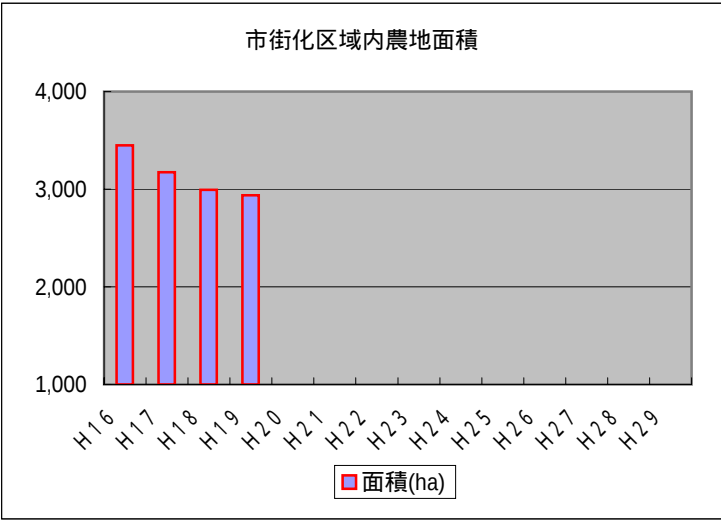
平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	市街化区域内農地の維持		
解決策	市街化区域内農地の保全		
モニタリング指標	市街化区域内農地面積		
出典	固定資産の価格等の概要調書(市町村課)	統計頻度	毎年
指標の概要			
・市街化区域内農地については、都市の良好な自然環境を形成する資源として、重要性がある。			
・ここでは面積について、その動向をモニタリングする。			

○指標の推移

	面積(ha)
H 1 6	3,449
H 1 7	3,174
H 1 8	2,995
H 1 9	2,938
H 2 0	
H 2 1	
H 2 2	
H 2 3	
H 2 4	
H 2 5	
H 2 6	
H 2 7	
H 2 8	
H 2 9	



2 指標の概況

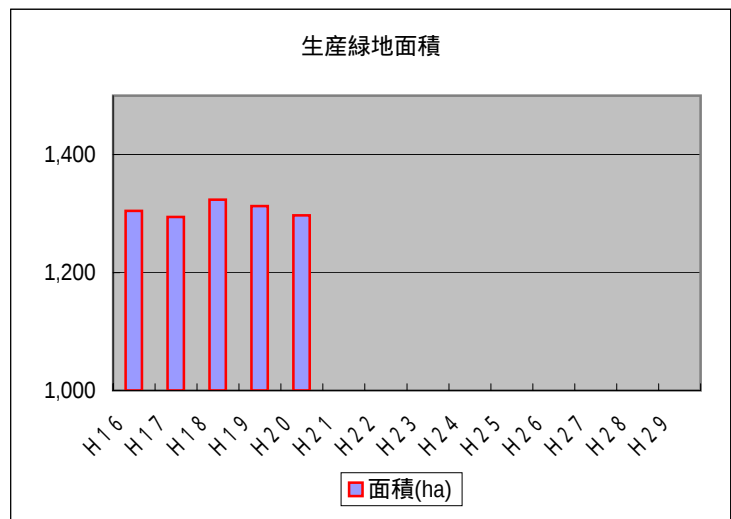
平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	

モニタリング指標 データシート(イメージ)

分類(利用目的)	農用地		
施策の方向性	市街化区域内農地の維持		
解決策	生産緑地の保全		
モニタリング指標	生産緑地面積		
出典	都市計画年報(国土交通省)	統計頻度	毎年
指標の概要 ・生産緑地は、都市内の良好な自然環境を構成するインフラとして重要であり、保全を図る必要がある。 ・このため、生産緑地の保全状況を把握する。			

1 指標の推移

	面積(ha)
H16	1,304
H17	1,294
H18	1,324
H19	1,313
H20	1,297
H21	
H22	
H23	
H24	
H25	
H26	
H27	
H28	
H29	



2 指標の概況

平成22年	
平成24年	
平成26年	
平成28年	